



くまいし 八雲 にとっておき熊石な物語



歴史好きにはたまらない
アングラーにもたまらない
青い海と温泉のまち

表紙写真
宝石のように色鮮やかなあわびの稚貝



八雲町の観光と物産の情報は八雲町情報交流物産館「丘の駅」へ
北海道二世郡八雲町浜松368-8 北海道自動車道PA・道立公園噴火湾パノラマパーク内
<http://www.yakumo-okanoeki.com/>



[発行] 熊石地域活性化プロジェクト協議会
[お問合せ(事務局)] 八雲町熊石総合支所地域振興課
〒043-0495 北海道二世郡八雲町熊石根崎町116番地
TEL 01398-2-3111 FAX 01398-2-3230
<http://www.town.yakumo.lg.jp/>

[Edit] Labbott Co.,Ltd.
[Design] R.Wakai
[Illustration] M.Masayuki
[Photograph] I.Sasaki

この冊子は札幌大谷大学との域学連携事業の協力を得て制作されています。



クマウシ

アイヌ語で「魚を乾かす竿のあるところ」——熊石の名の由来になる

北海道二世郡八雲町





七百年の時を越えて 史跡と伝統のまち

八雲町八雲地域(太平洋側)から

「太平洋と日本海を日本で一番短い距離で結ぶ」

国道277号(通称:雲石峠又は八熊線)を車で40分ほど走ると、

目の前に日本海が広がります。

この日本海側の八雲町熊石地域は、

平成17年に爾志郡熊石町と山越郡八雲町が合併してできた地域です。

明治初期から尾張藩徳川家による本格的な開拓が始まった八雲地域に比べ、

熊石地域は江戸時代以前よりまとまった集落がありました。

江戸時代に入ってから、

松前藩が和人地と蝦夷地との境として番所を設けた土地でもあり、

太平洋側の八雲地域とは異なる中世からの歴史文化を継承しています。

同じ松前藩であった松前・江差と比べても

独特の文化を持つ、いにしへの趣漂う地域なのです。

CONTENTS

- 1 あの鮭の名前の由来は熊石から 3
- 2 北海道で最も古い祭りのひとつ 5
- 3 日本海側最北の番所と道南霊場門昌庵 7
- 4 あの松浦武四郎も愛した秘湯 9
- 5 北海道初の役力士は熊石出身 11



1 あの鮭の名前の由来は熊石から

名もない魚が熊石に豊漁をもたらした

北海道の魚といえば「鮭」を想像する人も多いと思います。実はこの魚の名前は熊石で付けられたのです。時は1720年、法順和尚という念仏行者が熊石村にやってきました。和尚は、現在の法蔵寺が無住であったことを幸いに、ここを借りて布教を始めました。そんなおり、村内はニシン漁業が不

振で、村民は生活に苦勞していました。そのとき毎日沖を眺めていた和尚は村民を集め「遙か沖合には魚が群を成している。協力して、皆で取ってはどうか」と提案しました。村民は半信半疑で出漁し、苦心の末漁場を見つけ、大漁となったそうです。しかし、だれもその魚の名前がわかりません。村民が和

尚に尋ねたところ、和尚も分らないというのです。そこで和尚は何か良い名はないかと考え、法順和尚の法と村に花を咲かせてくれる魚だということで「法花↓鮭」と名づけたそうです。

また、その翌年には待望のニシンも取れたことから、報恩感謝の意味を込め村民丸となつて、山海漁獵供養塔を法蔵寺境内に建てたと伝わっています。この供養塔は、道内におけるこの種の供養塔のなかでは最古のものであり、北海道の村落形成、経済、生活文化を知るための貴重な遺産として、1985年3月30日に北海道有形文化財に指定されています。



ホッケの飯寿司



熊石で美味しいのは、ホッケの飯寿司。各家庭で味が違うのでぜひ食べて欲しいね。
松田紀嗣さん
(熊石歴史文化のスペシャリスト)

山海漁獵供養塔
1721年に建立。北海道最古の動物への供養塔で、毎年3月には供養祭が行なわれている。



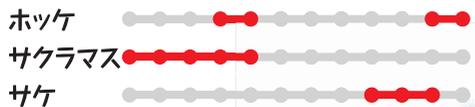
ホッケ
カサゴ目アイナメ科ホッケ亜科ホッケ属の北海道を代表する魚。



海サクラのメッカで大勢のアングラが全道、全国から一日何人も来ます。
佐々木直樹さん
(熊石の名物アングラ)

くまいしで釣れる さかなの本格的な時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月



サクラマス釣り

雪融けの北海道、熊石の風物詩と言えば、鮎川海岸を中心に見られるサクラマス釣りのアングラ(釣り人)が並ぶ風景。航空会社ANAのホームページでも「北の海に開花を告げる“海サクラ”のメッカ・熊石海岸」と紹介(<https://www.ana.co.jp/vacation/fishing/spring/kumaishikaigan/index.html>)されたほど。



日本海の豊富な餌を得て育ったサクラマス、熊石の海岸では4~5kgもの体高の大物が釣れるとあって遠方から訪れる人も多い。町内にはレジャーとして釣りを楽しむ家族も多い。また、

定年後の居住地として移り住む釣り人もいるほど。八雲町全体がそうだが、熊石は魚との縁がととも深い。

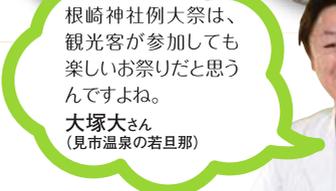


北海道で最も古い祭りのひとつ

400年以上の歴史をもつ例大祭

北海道で有名な祭といえ
370年以上の歴史をもつ道
南江差の姥神大神宮渡御祭が
その一つに上げられますが、こ
こ熊石の根崎神社例大祭、北
山神社例大祭、相沼八幡神社
例大祭は、その姥神大神宮渡
御祭にならぶ歴史を持つ祭りな
のです。祭りはそれぞれに歴史
ある各地区の山車15基が二日

間かけて熊石各地区を練り歩
きます。中でも根崎神社例大
祭の宿入には、熊石ならではの
獅子神楽が舞われます。その
後に重さ1ト近く神輿を担い
で根崎神社の境内めぐり何
度も駆け上がります。ちなみ
に古老の伝えでは、昔は熊石か
ら江差の祭りに山車を貸し出
していたこともあったそうです。



根崎神社例大祭は、
観光客が参加しても
楽しいお祭りだと思っ
てますよね。
大塚 大さん
(見市温泉の若旦那)

根崎神社



北山神社

木喰行道、作仏はじまりの地

仏像彫刻で有名な木喰行道
の作品は、「微笑仏」と称され
る特有の微笑を浮かべた仏像が
特徴ですが、初期の作品ではま
だ作風もぎこちなく、表情も
沈鬱なものが多いのです。木喰
行道は、1778年に蝦夷地に
渡り、太田神社(現せたな
町大成区)で見た円空仏に触
発され作仏を始めたようで、こ
の年の7月に熊石の門昌庵を
訪れています。また、熊石の法

蔵寺にある行道作の日本廻国
の5月。熊石に残された数々の
木喰仏、そして1780年5
月に江差から蝦夷地を離れてい
ることを考えると、熊石で最初
の作仏が行われたらうといわ
れています。法蔵寺には北海道
最大の道指定文化財の木喰仏
が安置されています。



木喰行道作
日本廻国供養碑

法蔵寺

木喰行道は、門昌庵に
逗留されて熊石にある
仏像を作られたという話
があります。
長水 憲一さん
(門昌庵住職)

円空と木喰
小島梯次著
東京美術刊



木喰仏(法蔵寺)



珍しい円空仏と ご神体の謎

根崎神社でご神体とされてい
るのは、かの有名な円空上人(江
戸時代初期の行脚僧)が彫った
聖観音仏像なのですが、彼の作品
の中でも非常に珍しい「立像」な
のです。円空仏は、一刀彫とい
う独特の彫り特徴で、その芸術
性が高く評価され、秘仏とされ
ているものもあります。ところで
何故神社なのに仏像もご神体と
して祀られているのでしょうか?

古来日本では、神仏混淆の信
仰体系として本土着の神祇信
仰と仏教信仰があり、円空仏は
その流れから神社でご神体とし
て祀られてきました。ところが明
治新政府が神仏分離令を出し、
神と仏を区別化するようにした
のです。しかし、今までご神体と
して祀っていたものを、今更神様

として祀らないのはおかしなこ
とだということで、今日も根崎神
社の円空仏はご神体なのです。

もう一人の木喰

そしてよく間違われるのです
が、木喰行道には、木喰白道とい
う弟子があり、この方も行道と
一緒に蝦夷地に渡っています。し
かも白道仏と呼ばれる木喰仏と
同様の「微笑仏」を日本各地に残
しているのです。そして近年、こ
こ熊石で木喰仏だと思われていた
作品のいくつかは、白道仏だった
ことが判明しました。つまり熊石
は、白道にとっても作仏はじまり
の地といえそうです。



熊石歴史記念館

円空仏
(根崎神社)





3 日本海側最北の番所と道南霊場門昌庵

和人とアイヌ民族を隔てた最北の番所

八雲町の太平洋側には和人と蝦夷地の境、日本最北の関所といわれる山越関門跡があります。日本海側の熊石地域には、最北の番所があったのです。番所は関所とは違い、全ての通行人を厳しくチェックするのではなく、蝦夷地に入っ

て勝手に売買を行うことの監視やニシン漁のため熊石最北部「関内」を超えて蝦夷地に入ることの監視などでした。当初番所は熊石南部の相沼にあつたそうですが、ニシン漁の北上と共に最終的には今の熊石雲石町辺りに移動してきました。



ポンモシリ灯台
せたな町との境界にある関内地区の岬の小高い丘にはポンモシリ灯台がある。江戸時代まではここまでが松前藩の領地でここから先は蝦夷地とされていたとも言われている。



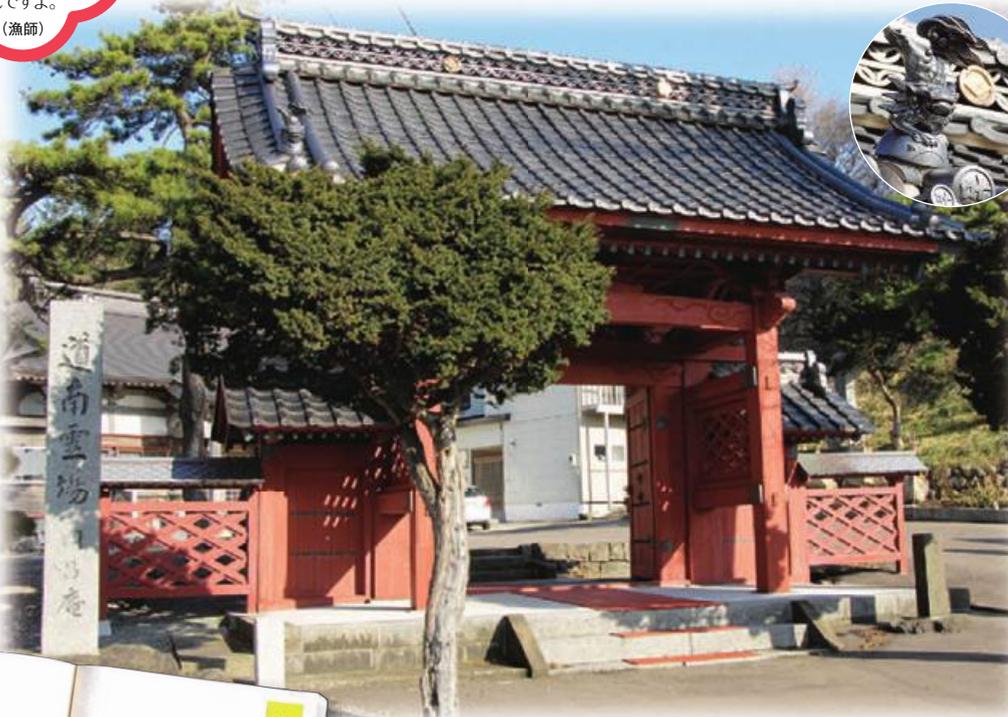
熊石の名は、アイヌ語のクマウンからきてるとい説があるんだけど、この雲石からきたっていう話もあるんですよ。
佐藤弘さん(漁師)



延叙歴史真図 (函館中央図書館所蔵)



熊石歴史記念館
ニシン漁の歴史をはじめ、1691(元禄4)年に設置された熊石番所や北前船によってもたらされた歴史・文化などが展示されている。
(月・祝・年末年始休 9:00~17:00 有料
☎01398-2-2200)



柏巖禪師の祟り

松前藩のお家騒動に纏わる伝説は、藩政をめぐった悪臣達に嵌められた、松前法幢寺の住職柏巖禪師の物語です。禪師は、悪臣達の策略により藩主の怒りを買ひ、当時松前藩の端である熊石に流罪とされ、その地で草庵を結んだのです(後

和人を救った奇岩雲石

実はこの番所付近では、さまざまな伝説があるのです。まずは、天然記念物にも指定されている奇岩雲石に纏わる伝説です。1529年頃、現在のせたな町付近を治めていたアイヌ民族の大族長タナケシが和人に對して戦いを起こします。松前家はこれを討たんと兵を起こすの

ですが、敗北。命からがら逃げる松前軍に追い打ちをかけるタナケシ軍、その時、二天にわかにかき曇り、雷鳴はとどろき、浜辺にもくもくと立ち込める黒煙の中に、突如巨岩がせり出します。松前軍は、天の助けとばかりに奇岩に逃げ込みましたが、タナケシ軍は恐れて近づくかず、その隙を見て松前軍は難を逃れたと言伝えが残っています。



延叙歴史真図 (函館中央図書館所蔵)
1859(安政3)年、幕命により北海道、樺太を調査測量した幕吏目賀田が各地の沿岸を描いた鳥瞰図。当時の熊石村の様子、奇岩雲石や番所が描かれている。



逆川



門昌庵
開山 柏巖 峯樹和尚三脈

の門昌庵)。しかし、その地でも悪臣達の魔の手は伸び、1678年ついに無実の罪で斬首されることになるのです。斬首の際、禪師は経文を逆さに読み上げ、首を切られたその時、そばに流れていた川が物凄い勢いで逆流したそうです。ちなみに、その川は逆川と呼ばれ今も残っています。それからです。松前藩に次々と凶事が起こり、人々はこの凶事を門昌庵の呪いと恐れたのです。今も松前では凶事があれば門昌庵の祟りだという人がいるそうです。

ああの松浦武四郎も愛した秘湯

熊石では、熊も人も
みんな癒される



松浦武四郎像
(熊石歴史記念館)

松浦武四郎は、江戸時代末期から明治にかけての探検家、浮世絵師。雅号は北海道人。蝦夷地を探索し、北海道という名前の名付け親として知られています。その松浦武四郎が、平田内川上流の山奥にわざわざ入り、大人が3人手を繋いで川を渡り、何度も転び、川に流され、足から出血しながらも、求めたのが「熊の湯」です。そして入浴の際にこんな言葉を残しています「鉄分を含んで湧き出ている、なんとも穏やかな湯で人肌にあうことか」。熊の湯は、その昔、手負いの熊がヨモギを患部に当てながら入浴して傷を癒したといわれた

湯で、松浦武四郎が流血した足の患部にヨモギを当てて傷を癒したかは分りませんが、この熊の湯は、溪流の岩肌のくぼみに湯が溢れ、一度に3〜4人が入れる広さ。豪快な水の音を聞きながら、春・夏・秋と季節おりりの自然を感じることで天然の露天風呂（冬は閉鎖されています）。また、周りには山菜も豊富にあり、今でも人の絶えることない場所です。ちなみに松浦武四郎も、熊の湯の帰りに山菜を採って帰っています。また、見市温泉も傷ついたクマが川岸のお湯溜まりに浸かって

熊の湯

あわびの湯から約4km上流の源岩をくりぬいて作られた野趣溢れる無料露天風呂。車で行くことが出来るが冬期間は閉鎖。

いるのを見たのが開湯のきっかけだったといえます。以来、見市川の溪流沿いに明治初年から百年以上に渡って、源泉かけ流しの湯治宿が営まれてきました。

平田内温泉あわびの湯 (ひらたない荘)

泉質はナトリウム塩化物泉、リウマチ性疾患、神経痛、腰痛、運動機能障害、慢性皮膚病、痔疾、五十肩などに効くとされている。源泉は熊の湯に近い。
(八雲町熊石平町 ☎01398-2-4126)



*季節によって料理の内容が異なります。 あわび尽くし料理

見市温泉(見市温泉旅館)

泉質は含重酸土類弱塩素泉、ミネラル分が豊富に含まれており、外傷、打撲傷、リュウマチ、神経痛に効くとされている。
(八雲町熊石大谷町 ☎01398-2-2002)



あわび丼



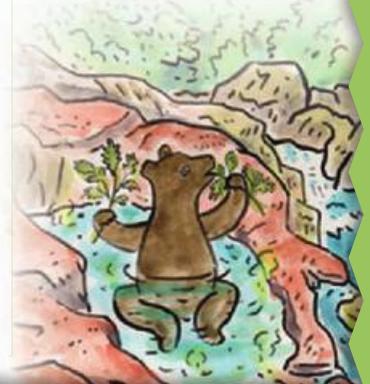
あわびの里フェスティバル
毎年5月第3日曜日に行なわれる。特産のあわびを中心とした食のイベント。あわびづくしの1日に、2万人もの来場者で賑わう。



熊石道南休養村の桜並木



いい温泉とキャンプ場、あわびの直売所が集まっている。ここからは、あわびの里フェスティバルで有名な。垣田篤さん(寿司処かきたの大将)



5 北海道初の役力士は熊石出身

熊石の美男力士

日本の国技ともいわれる「相撲」、北海道出身の横綱は8人（平成26年現在）で全都道府県中最多なのです。その中には大鵬・北の湖・千代の富士といった角界を代表する大横綱も含まれています。そんな角界をリードしてきた、力士を数多く輩出している北海道なのですが、北海道出身者で初めて役力士となったのが熊石出身の三杉磯関だったのです。

彼は12歳で米二表（約120kg）を軽々と持ち上げる怪力で、これを見込んだ瀬棚の相撲通の小料理店店主が、彼に力士になることを勧め、彼は角界の門をくぐるようになったのです。

初土俵は、18歳の1911年

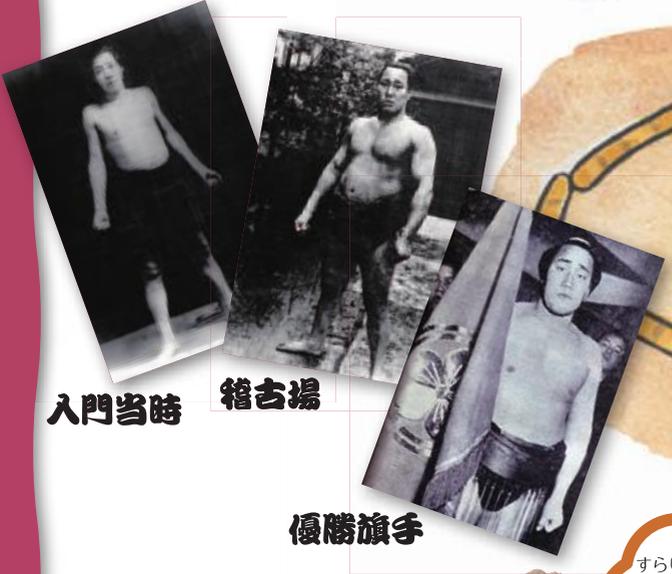
星取り表
協力「大相撲星取表」
<http://gans01.fc2web.com/>

昭和3年春場所		星 (89取)		星 (112取)	
場所	場所	場所	場所	場所	場所
東ノ旭	西ノ旭	東ノ旭	西ノ旭	東ノ旭	西ノ旭
...
前頭13	三杉磯	伊勢海



三杉磯善七

本名小西善七、1892(明治25)年熊石生まれ。幕内最高位は関脇、得意手は右四つ、寄り。北海道出身初の幕内力士として名高い。



入門当時

箱古場

優勝旗手

すらりとした美男力士で、福柳という力士と人気を二分するほどだったそうですよ。
松田紀嗣さん
(熊石歴史文化のスペシャリスト)

優勝旗手となったのです。引退後は年寄・9代花籠を襲名して、花籠部屋を設立しました。

五月場所でした。当初シコ名を本人は「神威山」としたかったようですが、親方から「神様の名をつけるのは位負けする」といわれ、瀬棚の景勝地「三本杉岩」にちなんで「三杉磯」としました。三杉磯関は、西前頭三枚目のときに、当時無敵を誇った横綱大錦を破る大金星を挙げるなど活躍し、最終的に関脇まで昇進しました。1929年(引退の前)には、優勝同点・優勝旗手となったのですが、当時の決まりで同点優勝の場合は、番付上位のものが優勝と決められており、大関常陸君の優勝、三杉磯の





玉手箱のような八雲のとおきな小冊子「8Beat八雲」[8Beat八雲 落部編]に、八雲ならではのお土産話がぎっしり。ぜひ読んでみてね!



八雲観光物産協会ホームページからダウンロードができるよ!!

八雲観光物産協会ホームページ
http://www.yakumo-okanoeki.com/



海洋深層水の販売スタンド

熊石海洋深層水 供給施設

太陽の光が届かない水深343mから取水した、良質でクリーンな海洋深層水を供給する施設。海洋深層水は様々な水産利用や、総合交流施設を中心として多目的に活用されている。



熊石海洋深層水総合交流施設
(八雲町熊石根崎町/
土日・祝・年末始休
8:30~17:15無料
☎01398-2-2300)



海洋深層水を利用した製品



海洋深層水による製塩



熊石にまつわる物語



イカ刺し

遊楽部鉱山に つながる 謎の多き金山道!

1674年から採鉱が始まり、1862年に日本で初めて火薬によって採掘を行った遊楽部鉱山、当初鉱石は八雲地域ではなく熊石地域に運搬していたと古い文献で分っていたのですが、近年地元調査委員の働きもあり、熊石泊川町に通じる金山道という道を使用して鉱物の鉛や物資・食料を運んでいたと分ってきました。その

珍しい! 海洋深層水の販売スタンド

そして今日では、北海道でも3カ所しかない海洋深層水の汲み上げ施設があり、水揚げされたイカや海産物は海洋深層水を使って鮮度を保ち、熊石の食卓はもちろんのこと市場等にも提供されています。その海洋深層水、なんと販売スタンド形式で一般の方達も自由に購入、利用できます。

泊川に伝わる話なのですが、なんと鉛の輸送拠点である泊川で、実は鉛の一部が意図的に隠され、そのありかを知っている人が密かにイカ漁の針を作るのに使っていたというのです。一見なんの関係もない鉱山と熊石イカ釣り漁の意外な接点が見られます。

鉱山は意外な意味で、昔から熊石地域のイカ釣り漁の一端を陰ながら支えていたのです。

熊石方言で名作童話「シンデレラ」、シンデレラ劇上演原稿の一部を紹介。

(大広間で踊っている)

人々1 だでエ、めんこいお姫様だの。
 ♪2 おら、あったらめんこいあねこみだごどね。
 ♪1 したども、どのお姫様だべ。
 ♪2 すらね!
 王子 ことたらにきれんだふと見だごどねじゃ。まつこいまなぐにめんこい口だごど。
 人々2 あんれまあ、みんな見れ見れ。あのお姫様おどりこもだでエよんずだわ。

シンデレラ 王子様すまねども おら、もう戻んねばなんねエ。(走りだし、靴がぬげる)わい!

王子 待ててば、おめの名前なんてんや。おらさ教えてくれ。

シンデレラ だめだ、わがね、さいなら。
 王子 おれあふとど結婚してなア。したどもどのお姫様だべ(王子退場)

けらい ごめんください。ちょっとすまねども、ふとりずつこの靴はいでみてけねべか。

母 おめだ、はいでみれ。
 姉1 おらまず最初にはいでみる。あー、わんつかあぐどが出てまうじや。(無理にはこうして)あ、いででエ。これだら小さくてわがね。

姉2 ほらねっちゃん、おめだらわがねべ。あらの足だらちやっつけえから大丈夫だべ。(靴をはいて)あ、はいらねっちゃん。

母 やんや、おめだはいねのが。
 けらい そこにいるあねこもはいでみればいいべさ。
 母 わがねえ。シンデレラの足だけあうわけねえ。はいだてだめだあ。
 けらい んだもあっちゃ、町の娘だ全部にはがせてみれって王子様に言われて来たすけ、はがせてみでけれ。
 母 んだが、せば おめもはいでみれ。

(シンデレラ、黙って靴をはく)

姉1 おんやまあ、びったりでねの!
 姉2 なしてだね。
 けらい やんや、おめがあのお姫様だったのけ。せば今すぐ王子様は連れて来るすけ。

母 おんやシンデレラ、おめがけ、おめがあの時のお姫様だったのけ。

ことたらばかな話ってあるがや。おらはどうしたらいいんだ、んだ、ぼさつこいでられね。おめだ、はえぐシンデレラにいいふく着せてやれ。

けらい 王子様、このうちです。
 王子 姫はどこだ。
 母 よく来てけだねエ。シンデレラはすぐ来るすけ、ちょっとら坐って待ってでけれ。

王子 おお、姫。
 シンデレラ 王子様。
 王子 ことたらにあいたくて探したごどだが……

シンデレラ 王子様(二人抱き合う)
 (二人腕をくんで並ぶ。全員入場。紙ふぶき、クラッカーでワイワイ騒ぐ)
 ナレーター シンデレラと王子様は、いつまでも幸せに暮らしたとさ。

方言は歴史を語る?



熊石歴史記念館

方言は今も日本各地にあり、珍しいモノではありません。独特過ぎて何を言っているのかわからないものも多く、ここ八雲町熊石地域の方言は、そんな方言に負けず劣らず一風変わっています。熊石地域の方言の起源として、北前船が影響しているのではといわれています。北前船は、江戸時代から明治時代にかけて活躍した主に買積み廻船で、蝦夷地を含む日本海沿岸諸港から下関を経由して瀬戸内海の大坂までを航路としていました。熊石の方言には、例えば「おっ



地域の子どもたちが演じる「シンデレラ」劇